

## 第6回瑞穂町協働のまちづくり推進委員会

- 1 日 時 平成31年2月4日（月曜日） 18時30分から19時55分
- 2 場 所 けやき館 1階会議室
- 3 出席者 （委員）  
石川かず子、香取幸子、小山裕紀子、田中幸男、中沢清、豆田和子  
（事務局）  
古川実（地域課長）、栗原康弘（地域課地域係長）、  
堂垣祐介（地域課地域係主任）  
（欠席者）  
井上祐輔、小松揚明
- 4 議 題 1 協働フォーラムについて  
2 その他
- 5 配布資料 1 次第  
2 協働フォーラムスケジュール  
3 けやき館との打合せについて  
4 協働フォーラム2019アンケート（案）  
5 協働フォーラムチラシ  
6 IDカード  
7 協働事業ガイドライン  
8 小松委員発表用のレジュメ
- 6 開会  
香取委員長
- 7 あいさつ  
古川地域課長
- 8 議題1 協働フォーラムについて  
資料の確認及び説明（資料1, 2）  
資料1により、フォーラム前日準備及び当日の流れについて確認を行った。また、役割分担やブース出展場所等を決めた。資料2は、前回会議で協議した内容について、けやき館担当者と事務局が打合せを行った結果であり、それを報告した。

- ・司会進行は小山委員に決定した。
- ・受付は石川委員と事務局に決定した。
- ・リハーサル参加者は中沢副委員長、小山委員、石川委員、豆田委員。本日、欠席である井上委員と小松委員には事務局が確認する。香取委員長が9時集合は難しい為、遅れて参加となる。
- ・廊下などの掲示物は前日から置いたままでいいが、PCや衣装などは会議室に保管しておき、当日朝に出す。
- ・当日の昼食は、事務局が取りまとめ、1週間前までに香取委員長に連絡する。現段階で、個数は、石川かず子1、小山1、田中1、豆田1は確定。金額についても、事務局が検討する。
- ・各ブースでは、協働の話在前面に出して行うよりも、それぞれの活動を紹介して興味を持ってもらって、楽しんでもらい、深く聞きたい人には丁寧な説明を行うイメージで取り組むことが重要だと思う。

#### ブース出展場所

中沢：体験学習室前廊下にパネル4枚程度、奥のスペース

小山、石川：体験学習室前廊下にパネル2枚程度

豆田：体験学習室前廊下にパネル2枚程度、図書コーナーでホワイトボード展示  
(もしくは、町民会館ロビーにあるパネルを持ってくる)

田中、井上：図書コーナーパネル

小松：外のあずまや横

事務局：図書コーナーパネル、入口付近に案内板設置

## 議題2 その他

#### 事務連絡について

- ・資料6、ガイドラインが完成したので、地域課窓口やHPに掲載している。
- ・みずほケーブルでフォーラムの告知を1/31~2/13の間、放送されている。
- ・発表者の方へのお願いとして、レジユメが完成し次第、事務局まで資料を送っていただきたい。
- ・フォーラム当日、関係者はなるべくけやき館の駐車場を利用せずに、臨時駐車場を利用してほしい。
- ・資料3、アンケートに関して、他に項目を追加した方が良いなど、意見がある委員は、事務局まで連絡をお願いしたい。
- ・参考資料、小松委員発表資料については、小松委員と事務局と一緒に講演を行う予定である。小松委員は、トップバッターでもあるので、「なぜ協働が必要なのか」「協働とはどういう事か」ということを最初に伝えていき、それを聞いた後に、具体的な活動事例の中沢副委員長と井上委員につなげていきたいと考えている。

- ・今年度はフォーラムをもって、推進委員会の活動は終了となるが、来年度も引き続き委員をお願いしたいと考えておりますので、その際はよろしくをお願いします。

#### その他

- ・(香取) 協働とはどういう事なのか説明を求められた時、どういった説明をしたらよいでしょうか。協働という言葉を使わないで簡潔に説明するような表現はありますか？

(中沢) シンプルに住民と行政が持てるものを活かし合って、まちづくりをすること。問題に対して、町と一緒に向き合って、解決するということ。聞かれた時に難しい説明をすると聞いてくれない場合があるので、簡潔に伝えるようにしています。それで興味を持って深く聞いてくるようであれば、説明を加えます。

- ・(中沢) 試験的に協働のまちづくり推進委員会のフェイスブックページを作成したんですが、皆さんでどのように使うか確認しておきたいです。自分の考えとしては、推進委員のそれぞれの活動を自由に更新したり、協働に縛られずに町で行った活動などを日常的に更新することで、次年度に向けてアピールになると思っています。